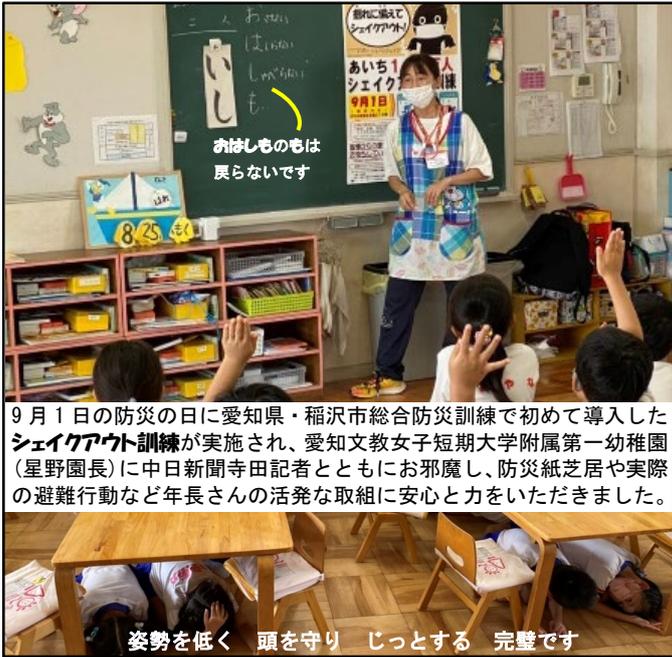


# 大村県知事 4期目 続投へ?



9月1日の防災の日に愛知県・稲沢市総合防災訓練で初めて導入したシェイクアウト訓練が実施され、愛知文教女子短期大学附属第一幼稚園(星野園長)に中日新聞寺田記者とともにお邪魔し、防災紙芝居や実際の避難行動など年長さんの活発な取組に安心と力をいただきました。

姿勢を低く 頭を守り じっとする 完璧です

## ■令和4年9月定例愛知県議会

9月21日開会の県議会には9月6日発表のコロナ及び燃油・物価高等の対策として早期議決が必要な一般会計669億6千万円及び企業会計26億4千万円のコロナ関連の補正予算697億円に加え、いなざわ特別支援学校校舎の増築や県内46か所目の警察署として新設へ向けた大府警察署(仮称)の調査費などの一般会計99億2千万円の補正予算(一般会計補正合計768億8千万円)のほか

- ・愛知県基幹的広域防災拠点のPFI方式(BT+コンセッション)導入のための条例制定
- ・職員の定年年齢の引上げ及び役職定年制の導入などの条例の一部改正
- ・稲沢・稲沢東・尾西高等学校を統合し

### ●現行60歳定年の段階的引上げ

2023	2025	2027	2029	2031
2024	2026	2028	2030	～
61歳	62歳	63歳	64歳	65歳

※60歳役職定年制導入

愛知県立稲沢緑風館高等学校を設置のため学校条例の一部改正などが上程されました。また12日には高齢者インフルエンザ予防接種費補助金19億3千万円が追加されました。

■コロナ関連補正予算から…697+19=716億円、今年度合計2,975億円、累計1兆4,026億円

### ■ワクチン接種関係等

- ・感染症拡大防止のため引続きの医療提供体制確保に451億円、オミクロン株対応ワクチン接種の医療機関支援に26億円、オミクロン株対応ワクチンの接種開始に向け大規模集団接種会場の開設期間を年度末へ延長に3.22億円等
- ・介護事業所等のサービス提供体制の継続支援に34億円など

### ■燃油価格・物価高騰等への支援

- ・私立学校等のバス燃料費・給食費や民間保育所等や県立学校の給食費を引続き支援…3.32億円+4.28億円+0.33億円
- ・社会福祉施設(約2万事業所等)及び透析患者送迎等の医療機関(342医療機関)を引続き支援…10.45億円
- ・肥料価格高騰対策支援金(新規)など燃油・肥料・飼料価格高騰の影響を受ける農林漁業者等を引続き支援…56.66億円
- ・県融資制度の原油・原材料高緊急対応枠を延長し信用保証料を補助することで資金繰り支援…債務負担行為16.89億円
- ・公の施設の指定管理者や庁舎・県立学校・警察署等の運営費を支援…2.85億円+51.24億円(内企業会計26億円)
- ・公共交通事業者や貨物自動車運送業者を引続き支援…4.54億円+8.25億円
- ・あいちエコアクション・ポイントを発行し環境配慮行動を促進…0.29億円(新規)
- ・低所得世帯の高校生等の奨学給付金に引続き5千円加算…0.95億円

おはしんはしらない  
はしんはしらない  
やべつはしんはしらない  
もどらぬい



グリーン購入などポイント対象となる環境配慮行動を行った場合にスマートフォンで店舗等に設置されたバーコードを読み取りポイント取得⇒賞品が当たる抽選に参加 (2023年2月開始予定)

### ■コロナ関連以外の補正予算から



・災害時に人とペットが共生できる愛知の実現を目指し飼い主がペットを理由に避難をためらうことなく安心して避難生活を送ることができペット同行避難が当たり前となる環境づくりに向けてペット同行避難対策の在り方や専用避難施設の検討…0.04億円(新規)



- ・2024年3月開催予定のグローバル・インダストリー日本版(Smart Manufacturing Summit by Global Industrie)の開催に向け来春フランスで開催される欧州最大級の国際産業展グローバル・インダストリーに愛知県ブースを出展…0.22億円(新規)
- ・ICT等の先進技術を活用したスマートシティモデル事業の追加公募等(委託の上限1コンソーシアム当たり1千万円)…0.2億円
- ・あいち農業イノベーションプロジェクトしてスタートアップから提案された6テーマについて共同研究を先行実施…0.53億円
- ・ジブリパークのある愛・地球博記念公園で市町村フェアにあわせ中部・北陸フェア(仮称:11/11～12/18の週末 債務負担行為0.16億円(新規))を開催
- ・尾張北西地区における知的障害特別支援学校の過大化による教室不足を解消するため稲沢・小牧の新校舎増築に向けた基本設計を実施(稲沢特別支援:校舎1棟 普通教室20室他 3千万円 2025年9月供用開始予定)…0.84億円(新規)

# STEP 21 県政 2022R04 REPORT





## ■警察委員会県外調査

コロナ禍で中止だった委員会の県外調査がようやく再開され警察委員会は宮城県、福島県、埼玉県を訪問しました。

●初日は東日本大震災で9mを超える津波が押し寄せる中320名の命を救った震災遺構荒浜小学校で当時の避難状況及び救出状況などを伺い、殉職された渡辺警部、校長先生の決断、呆然とする住民、新たなまちづくりなど示唆に富んだ内容でした。また、宮城県警察からは避難誘導活動をはじめとする災害警備活動や治安維持活動の取組を聴取し、鈴木からは全国から集まる応援部隊の対処や厳しい活動の中のメンタルケア(士気の維持高揚)について質問しました。



震災遺構として見学者を受け入れる荒浜小学校の被災時



津波に耐えた数少ない松

●2日目は福島第1原発から20km圏内にあり避難指示が未だ解除されていない地域を管内に抱える福島県警察双葉警察署で避難誘導活動を始めとする東日本大震災被災当時の被害警備活動の状況や避難指示区域等での警戒警ら活動、原子力発電所外周の警戒など災害後の治安維持活動の効果的な実施に向けた取組についてヒアリングしました。また、福島県警察からは「非常時に強い庁舎」というコンセプトで建設された本部庁舎についてヒアリングしました。



6階建てと低層でワンフロアの面積が広い新庁舎

左写真は愛知県警から特別出向して他県の警察官と共に復興支援係として活躍している**ウルトラ警察隊**の皆さん。ネーミングはウルトラマンの円谷氏が福島県出身に因るのこと

●3日目は信号機の全国シェア3割の日本信号機株式会社の久喜事業所を訪問し最新の信号灯や交通管制について調査しました。

## ■警察委員会県内調査

警察委員会の県内調査で名古屋大学減災館及び落成式でお邪魔した津島警察署の管内概況・施設調査をしました。

●名古屋大学減災連携研究センターの西川先生からは「もし、あの災害の一日前に戻れたなら～870人余の証言から～」と題して危機対応の方法を伺い、県内の地盤の状況(ピンポイントで明治期の地図との対比など)、高層建物の揺れの再現など楽しく学ばせて頂きました。



## ●稲沢夏まつり開催！

3年ぶりに稲沢夏まつりが稲沢夏まつり実行委員会(野村会長:やろまい会会長)のもと地域の皆様にご無理をお願いし、コロナのBA.5対策強化宣言が延長されたため時間等を縮小し入場時のチェックなど感染防止対策を強化しての開催でしたが盆踊り等が中止される中、楽しみにされていた多くの皆様にご来場頂きました。



## ●連合愛知尾張南地協グリーンキャンペーン

尾張南地協(後藤代表:豊田合成労組委員長)のグリーンキャンペーン(海部地区)が蟹江町保健センター周辺で実施され稲沢からは木全市議と岡野市議とともに参加しました。次回は稲沢地区で実施予定です。



## ●中小企業議連研修会

新政あいち県議団中小企業振興政策推進議連(会長鈴木)でVC(ベンチャーキャピタル)やアクセラレータとしてスタートアップ企業を支援する(株)エアトリのCEO二井矢氏からメンダリングにより企業の将来性を把握しサポート企業が80社超(11社が上場)の実績等伺いました。



## ●稲沢市愛知県要望

稲沢市から愛知県へ重点項目の(都)祖父江稲沢線の整備促進、二級河川三宅川の整備促進、二級河川福田川の整備促進等の建設要望が行われ、鈴木からも近未来の道路形態等バックキャストを考慮した費用便益分析(CBA)、夢逢橋が完成している稲沢西春線の国道22号のタッチ部分の改修(一宮市域)などストック効果の早期実現への取組をお願いしました。



3年ぶりの県外調査でしたが一番の印象は11年経った今も被災された皆様の心(環境)の傷は癒えていなく、そして今も支える皆さんが努力をしている事です。全てを呑み込んだ海岸に全てを乗り越えて再びビーチパラソルの花が開く事を…**未来へつづくまちづくりへ**一生懸命動きます。愛知県議会議員 **鈴木じゅん**

# 愛知県新型コロナウイルス感染症

# BA.5 対策強化宣言

実施区域：愛知県全域

実施期間：8月5日～8月31日  
延長期間：9月1日～9月30日

緊急アピールの期間は  
終了しましたが  
**BA.5対策強化宣言**  
は9月30日まで  
再延長されています  
感染対策のご協力をお  
願います。



## 「BA.5対策強化宣言」での感染防止対策①

県民	①外出の注意点	混雑した場所や感染リスクが高い場所を避けて
	②県をまたぐ移動の注意点	基本的な感染防止対策を徹底
	③高齢者等への感染拡大の防止	高齢者・基礎疾患のある方に配慮
	④基本的な感染防止対策の徹底	感染しない、感染させない
事業者	⑤飲食店等に対する協力要請	入場者の感染防止のための整理・誘導 手指の消毒設備の設置 入場者に対するマスク着用等の周知等
	⑥業種別ガイドラインの遵守等	全ての施設で感染防止対策を自己点検
	⑦生活・経済の安定確保に不可欠な業務の継続	十分な感染防止対策を講じつつ、業務を継続
	⑧テレワークの推進等	テレワークやローテーション勤務の推進

## BA.5対策強化宣言の期間延長にあたり 県民・事業者の皆様へのメッセージ

愛知県では、8月5日からBA.5対策強化宣言により、感染拡大の抑制に取り組んでまいりました。

しかしながら、感染力の非常に強いオミクロン株により、新規陽性者数は、7日間平均値が13,000人程度で高止まりしており、病床使用率も70%を超え、大変厳しい状況が続いております。

このため、8月31日までとしていた「BA.5対策強化宣言」の期間を9月30日まで、再度延長しますので、引き続き、基本的な感染防止対策の徹底と早期のワクチン接種の検討をお願いします。

特に、夏休みが終わることから、学校においては、教育活動を継続するため、健康観察を徹底し、体調不良の児童生徒等は登校させないなどの取組を改めてお願いします。

また、こうした感染状況の中で、医療機関や保健所には大きな負荷がかかり大変厳しい状況が続いております。緊急でない場合は、休日・夜間の救急受診は控え、平日の日中でのかかりつけ医等への受診をお願いします。併せて、事業者や学校の皆様には、従業員や生徒等が療養を開始する際に、検査結果の証明書を求めないなど医療機関等の負担軽減へのご協力をお願いします。

オール愛知一丸となって、この第7波を克服し、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻していくことができるよう、皆様一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

- 1 実施区域 愛知県全域
- 2 延長期間 9月1日(木)から9月30日(金)までの30日間
- 3 要請事項 別紙『BA.5対策強化宣言』に基づく感染防止対策の徹底をお願いします。

2022年8月29日  
愛知県知事 大村 秀章

## 「BA.5対策強化宣言」での感染防止対策②

事業者	⑨職場クラスターを防ぐ感染防止対策	休憩室等での注意周知
	⑩事業継続計画(BCP)の点検・策定	事業継続計画(BCP)を点検し、未策定の場合は早急に策定
その他	⑪イベントの開催制限等	感染防止安全計画策定イベント 収容定員まで
		その他のイベント 5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
	⑫行事等での対策	人と人の距離の確保、大声での会話自粛
	⑬学校等での対応	感染リスクが高い学習活動の実施は慎重に再開を検討。部活動は感染防止対策を徹底
	⑭保育所、認定こども園、幼稚園等での対応	感染リスクが高い活動は回避 (2歳未満児)マスク着用は要めない (2歳以上児)マスク着用は一律には求めない
	⑮高齢者施設等での対応	「介護現場における感染対策の手引き」に基づく対応を徹底
県	⑯医療機関等の負担軽減に向けた対応	救急外来・救急車の利用は真に必要な場合のみ
	○ワクチン接種の機会の提供	○あいスタ認証店の普及